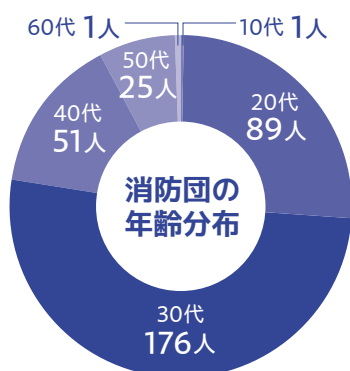




消防団は、火災の消火活動だけでなく、地震や風水害など多くの動員を必要とする大規模災害時の救助救出活動や避難誘導など、非常に重要な役割があります。本市では近年大きな地震はありませんが、この先、南海トラフ地震が起こる可能性は非常に高く、一層の防災体制が必要です。

消防について知る人が増えれば、市全体として防災力の底上げができるため、メンバーが定期的に入れ替わるのが理想的です。令和6年4月1日現在、本市には343人の消防団員がいて、その中には学生や女性も。しかし、条例では定数が362人とされており、実は人数が不足している状況です。

昔の消防団員は自営業が多く、地域との関わりも深かったため、団員になるのが当たり前といった風潮がありました。しかし、最近は、サラリーマンの増加、地域との関わり方や家庭のあり方の変化、少子高齢化の進行などにより、地域の防災活動の担い手である消防団員を確保することが難しくなっています。分団によっては、新入団員がいな

いことで、団員の入れ替えができず、同じ人が長く続けざるを得ないという状況に陥っていることも。

地域の安全・安心を守るために必要不可欠な消防団。「消防団がいてよかった」と皆さんが実感するのは、火災や災害が発生した時だけでもありません。しかし、普段、皆さんが何事もなく生活できているのは、日頃の消防団の活動のおかげでもあるのです。